

# 先絞り果の対策について

アグリ技研（株）



近年増加傾向にある先絞り果  
(微量元素や暖秋冬、空中湿度の影響)

特に高設栽培や不耕起栽培に多く頂果房  
や春先の二次腋果房に出る傾向

## 対策

### 「処理は出蕾期から開花期」

(1)葉面散布の場合

◎微量元素の**ホウ素肥料（ほう砂）1000倍**の葉面散布

(2)灌水の場合

◎10aあたりに**ホウ素100g + アミクエ5kg**を灌水処理

処理時期は、出蕾期から開花期に行うことで減少傾向  
(データ上) 及び受精も良好となり肥大促進にも繋がります

## その他要因

①施肥量の少ない場合も増加傾向

②急激な多灌水や土壌中の湿度過多も増加傾向

③草勢低下や根傷みも増加傾向